

第6回拡大LOC委員会議事録

(原田・益田)

日時： 2015年9月17日 12:30-13:40

場所： 横浜国立大学人間発達科学部 会議室1

参加者（敬称略）：益田、伊藤元雄（Jamstec高知コア）、鈴木（淳）、南、下田、平田、吉田、小畑、清水、土岐（琉球大）、鈴木（勝）、鍵
（日本学術会議IAGC小委員会（非公式）と合同で実施）

1. 益田さんからこれまでの準備の進捗状況、特にプラハでのGSやケンパブとの打ち合わせの結果を説明した。

永川さん作成のpptを地球化学会のウェブのGCサイトに掲載する。

2. 企業への働きかけについて

○国内企業への誘致活動において展示ブース出展に消極的な企業が多いため、誘致にかける方針を転換する。まず、展示ブースでの出展を交渉するが、金額や人的に難色を示された場合には、学生支援として寄付を募る。目安の金額を示した（例：1口5万円）趣意書の説明書きを作り、趣意書に挟んで配布する。

○JNTOなどを通じた寄付金の免税措置などについて再検討が必要である。

3. 学生支援について

○運営協力者（会場係など）は登録費支援でまかなう予定であったが、簡単な契約を学生と取り交わしてアルバイト費（時給1000円が横浜地区の妥当ライン）として見合う金額を支給するようにした方が良いことが指摘された。科研費などで学生の参加費をまかなえる大学では登録費とアルバイト代の関係が不明瞭ではよくない。一方で、学生の旅費支援が困難な研究室にとっては、アルバイト費としてよりも単に参加費を無料にしてもらった方が助かるという意見もあった。

○学生の登録費については、途上国（ポストドクラスも含む）からの参加者に対する参加費補助名目と一般学生対象のグラントの2種類の分類がある。これと、上述の運営協力への謝金の枠組みについて再整理する必要がある。

○メンター制度・ショートコースセミナーのために支援金獲得の努力をする。

4. GC2016の宣伝について

マスコミを上手く使って宣伝効果を高めることを考えた方が良い。NHKとは小嶋先生に仲介していただいて交渉する予定である。

5. 一般講演会について

横浜市教育委員会の後援を得た。教育委員会を通じて市内すべての高校に一般講演会のチラシを配布予定。